

なら国際映画祭for Youth 2023



特定非営利活動法人 なら国際映画祭

時 : 2023年9月16日(土)～9月18日(祝月)

場所 : 奈良公園バスターミナルレクチャーホール

近鉄をご利用の場合：東改札口より、1番出口を出てそのまま東へ徒歩約10分
(奈良県庁舎、東隣です)

JRをご利用の場合：東出口バスターミナルから

奈良交通2系統市内循環バス(外まわり)に乗車 約10分

「県庁前」バス停下車 東へ徒歩約3分



アクセスはこちら

time.	16日(土)	time.	17日(日)	time.	18日(祝・月)
	バスターミナル レクチャーホール		バスターミナル レクチャーホール		バスターミナル レクチャーホール
9:00		9:00		9:00	
9:30		9:30	開場	9:30	
10:00	開場	10:00	長編③：ベルリナーレ I Woke Up With a Dream 『僕が見た夢』 (75min)	10:00	
10:30	開会の挨拶	10:30		10:30	
11:00	NARAITVE jr. 『縁々』 (36min) + TALK 40min	11:00		11:00	
11:30		11:30	ユースシネマインターン 公開インタビュー	11:30	
12:00		12:00		12:00	
12:30	開場	12:30		12:30	開場
13:00		13:00	開場	13:00	
13:30	SSFF&ASIA 短編5作品 (114min)	13:30	長編④：ベルリナーレ Sweet As 『スイート・アズ』 (87min)	13:30	宮崎カーフェリーイベント (90min)
14:00		14:00		14:00	
14:30		14:30		14:30	
15:00		15:00		15:00	
15:30		15:30	開場	15:30	開場
16:00	開場	16:00	長編⑤：ベルリナーレ Longing for the World 『夏のおこがれ』 (76min)	16:00	ユース映画制作WS上映 (90min)
16:30	長編①：ベルリナーレ Hummingbirds 『ハミングバース』 (78min)	16:30		16:30	
17:00		17:00		17:00	
17:30		17:30		17:30	クロージングセレモニー (60min)
18:00		18:00		18:00	
18:30	開場	18:30	開場	18:30	
19:00	長編②：ベルリナーレ Sica 『シカ』 (91min)	19:00	天理市 特別上映 『陽のかげら』 (22min)	19:00	
19:30		19:30		19:30	
20:00		20:00		20:00	
20:30		20:30		20:30	

新プログラム「NARAtive Jr.」から「死生観」をテーマにした
村松希祥監督初作品 『縁々（えんえん）』

NARAtive Jr.は、河瀬直美監督作品『殞の森』の舞台でもある奈良市田原(たわら)地区にプロスタッフ、キャストが集結し、新生・村松組にて、本年2月に撮影。

村松監督デビュー作として誕生した『縁々(えんえん)』は、里山に暮らす家族(中学3年生の娘と祖母、母)が失踪した父の姿を追い求め、あいまいな日常からほころびる境目をさまよう物語。本作品は、9月16日のオープニングフィルムとしてプレミア上映予定。

◆9月16日(土)11時00分上映「縁々」 監督:村松希祥 (日本/2023/36分)
※オープニングセレモニー10時30分からのセットでのご入場となります。

上映作品紹介



長編部門:ベルリナーレ・スポットライト・ジェネレーション

オフィシャルパートナー「ベルリン国際映画祭・ジェネレーション部門」が推薦する5作品を上映。

タイトル	監督名	制作国	上映時間	上映年	上映言語	作品ストーリー
 <p>夏のあこがれ Longing for the World</p>	Jenna Hasse	スイス	76分	2023	フランス語、ポルトガル語、英語	スイスとイタリアをまたぐレマン湖沿いの町。養育施設で夏のお手伝いをする14歳のマーゴは施設にいる7歳のジュリエットに出会う。ある日、2人はインドネシアから帰郷した漁師のジョエルに出会う。一見繋がりの無い3人の間に不思議な心地よさが生まれていく。
 <p>スイート・アズ Sweet As</p>	Jub Clerc	オーストラリア	87分	2022	英語	家族に問題を抱える16歳のムラは、叔父のすすめで更生キャンプに参加する。それぞれに問題を抱えた3人のキャンプ仲間とキャンプリーダー2人と時間を共に過ごしていくうちに、閉ざされていたムラの心の扉は開かれていくのだった。
 <p>僕が見た夢 I Woke Up With a Dream</p>	Pablo Solarz	アルゼンチン・ウルグアイ	75分	2022	スペイン語	母に秘密で演劇クラスに通うフェリペは、クラスの講師からフェリペの父は俳優だったとある日聞かされる。フェリペは映画のオーディションを受けるため、街へ一人で出向く。そして父の死以来、しばらく疎遠だった祖母を訪ねる。
 <p>ハミングバードズ Hummingbirds</p>	Silvia Del Carmen Castañón, Estefanía "Beba" Contreras	アメリカ	78分	2023	英語、スペイン語	テキサス州・メキシコ国境に隣接する町に住むシルビアとベバ。歌とダンスで戯れる2人だが、彼女たちは移民申請プロセスの狭間にある。そんな不安定な現実に対し、彼女たちの揺るぎない友情は美しく輝いている。
 <p>シカ Sica</p>	Carla Subirana	スペイン	91分	2023	ガリシア語、カタロニア語、スペイン語	14歳のシカは、海に失踪した父の遺体が打ち上げられることを信じて止まらずにいる。ある日、海沿いに父を探すシカは、嵐の母を探すという不思議な少年スソに出会う。父が海に消えた真相と亡骸を探す彼女の探求は、その荒波と海風のごとく強い信念で渦巻いている。

上映作品紹介

・短編部門:ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2023受賞作品セレクション

アジア発の新しい映像文化の発信と新進若手映像作家の育成を目的とする、米国アカデミー公認“ショートショート フィルムフェスティバル & アジア”から「SSFF & ASIA 2023受賞作品セレクション」5作品を上映します。



タイトル	監督名	制作国	上映時間	上映年	作品ストーリー
希望のかけ橋 The Bridge	吉田和泉	ポーランド	22分	2022	ポーランドと日本の絆を深めた1920年の出来事を映画化。家族を失い、人生を生き抜くために自立を迫られる孤児の歴史を、10歳の少年の視点から語っている。
スカベンジャー Giddh (The Scavenger)	Manish Saini	インド	24分	2022	老人は少しばかりの食べ物を手に入れるため、やむを得ず成功しそうでない方法をとる。飢えは満たされるが、すぐに罪悪感に追われジレンマが生じる。
半透明なふたり Seen	浜崎 慎治	日本	24分	2022	芥川龍之介の短編小説『鼻』をモチーフにしたラブストーリー。生まれつき鼻が大きくコンプレックスを抱えて生きている男・龍也は、眼帯のひきこもり女・文と出会う。傷を背負った二人はお互い惹かれ合っていく。
さようならまでの時間 LIVE TILL I DIE	Gustav Ågerstrand, Åsa Ekman, Oscar Hedin Hetteberg, Anders Teigen	スウェーデン	24分	2022	ストックホルム郊外の国営の老人ホーム。祖母の死を嘆き続ける心優しい介護福祉士モニカと、家族のいない99歳の入居者エラの間で、深い絆が生まれる。高齢者介護の難しさと可能性を描いた、人生を肯定する感動作。
砂漠の星 Desert Lights	Katherina Harder	チリ	19分	2022	アタカマ砂漠の真っ只中で暮らす12歳のアンタイは、干ばつにより住む街が寂れて行くのを目の当たりにする。彼はサッカーのチームメイトや友だちと共に、最後まで街に残ろうとする仲間たちとの絆に最後望みを託す。

上映作品紹介

◆9月17日(日)19時00分上映 「陽のかけら」 監督:古川葵(日本/2023/22分)

奈良県天理市の山間部に位置する「長滝」という村里に、2ヶ月間、住み込みで撮影した短編ドキュメンタリー。かつて限界集落と呼ばれたこの地域に、30年ぶりに子どもたちの雄叫びがこだましている。かけ回って遊ぶ彼らに導かれるようにして、私は、形を変えて生きゆく村里の姿と、いつの時代も変わらない人の営みに出会った――。

「宮崎-奈良が“明日”をつなぐ」をテーマにした、新プロジェクト
「Feel in MIYAZAKI, Speak in NARA」

◆9月18日(月)13時00分上映 「Feel in MIYAZAKI, Speak in NARA」(4作品上映)

「Feel in MIYAZAKI, Speak in NARA」(宮崎カーフェリー株式会社共催事業)は、これからの未来を若者と共に考えていく必要がある現代、彼らが今何を思い、何を感じているのか、宮崎への船旅を通した映像作品で表現してもらいました。フェスティバル時にはその想いや価値観を共有する場を、上映&トークセッションとして、お楽しみ頂けます。

上映作品紹介

「ユース映画制作ワークショップ」上映作品について

「ユース映画制作ワークショップ」は、「子どもを子ども扱いしない」という姿勢のもとで、企画から撮影・編集までをユースのみで行うプログラムです。

今年は、7/30～8/6の1週間、映画監督の安藤桃子さんを特別講師としてお招きし、2作品(2チーム)を制作しました。作品上映とともにメイキング映像や参加者のトークセッションも実施いたします。



◆9月18日(月)16時00分上映 (2作品上映)

・チーム名:チーム新時代

参加ユース:Nanami Suematsu, Haruki Miyagawa, Shintaro Uemura, Taisei Morimoto, Rakusai Inoue
「夏灯(なつあかし)」 監督:Taisei Morimoto, Rakusai Inoue(日本/2023/14分)

・チーム名:チューファー

参加ユース:Yuka Umemoto, Honoka Shirata, Chiharu Tominaga, Raki Mitsumune, Taichi Ikeya,
Nalu Furumi
「ここから」 監督:Nalu Furumi 企画:チューファー(日本/2023/15分)

PHOTOGRAPHED BY LESLIE KEE



**NARA
INTERNATIONAL
FILM
FESTIVAL
for Youth 2023**

なら国際映画祭 for Youth 2023



<https://nara-iff.jp/>

日時

September 16 sat - 18 mon, 2023

2023年9月16日 [土] — **18日** [月・祝]

場所

Nara Park Bus Terminal, LECTURE HALL
奈良公園バスターミナルレクチャーホール
 奈良県奈良市登大路町76

主催 NPO法人 なら国際映画祭 **後援** 奈良県 **協力** 奈良県の映画文化再興実行委員会
助成 奈良市文化振興補助金(都市文化推進支援事業：広域参加型)